

## プレスインフォメーション

報道関係各位

2007年3月23日

### 安全柵とセンサーを一体化 生産現場内のアルミ製“安全柵システム”を開発 カタログでパーツを選び、簡単にシステムを構築

FA 向けアルミ製機器製品および機械装置の設計開発、製造、販売会社である SUS 株式会社(静岡県静岡市、代表取締役社長:石田保夫、[www.sus.co.jp](http://www.sus.co.jp))は、生産現場内に設置する“安全柵・安全機器”製品を規格化し、カタログによる販売をこのほど本格的に開始しました。同製品の規格化により、安全柵と安全機器を組み合わせて販売する一貫サービス体制が整いました。

今回の“安全柵・安全機器”製品のカタログ販売は、2006年4月に改正された労働安全衛生法の施行による生産現場の安全衛生管理体制の強化に対応すべく、企画したものです。精巧なアルミ製品の特性を活かし、安全柵とセンサーを一体化させた安全柵システムを独自に開発しました。従来は、事業者それぞれが生産現場におけるオリジナル安全柵の製作を余儀なくされていましたが、製品を規格化したことで、事業者にとって安全装置の設計や購入、設置が容易になります。製品のラインナップは、安全柵500点、安全機器30点で、これらすべてを「安全柵・安全機器シリーズカタログ2007」に収録しました。事業者はカタログでパーツを選びながら、簡単に安全柵システムを構築できます。なお、カタログは SUS 本社および各事業所や HP より入手でき、注文は FAX にて、全国の SUS カスタマーセンターで受け付けます。

SUS が実現した“安全柵・安全機器”製品の特長は以下の通りです。

#### 1.施工の簡便性

アルミの溝を利用することにより、柵と柵の接合やスイッチなど各種パーツの取り付けがボルトでできるため、火気を使用する溶接接合の必要がありません。またアルミ部材は軽量なため、運搬作業、設置作業も容易です。

#### 2.耐久性と高い汎用性、しかもクリーン

アルミは耐食性が強く、軽量で移築も簡単、しかも再利用が可能な素材です。生産現場のライン変更に伴う安全柵設置スペースの移動にフレキシブルに対応。また、ラインの拡張にもパーツをつなぎ合わせることで簡単に対応することが出来ます。さらに錆びにくいいため、常に工場内をクリーンな状態に保つことができます。

#### 3.お客様のご要望に柔軟に対応するフルオーダーシステム

規格化された製品をベースにすることで、多種多様な生産現場の寸法にオーダーすることが可能です。お客様のイメージに合うよう、レイアウト図面を無料で作成し、より最適な製品を提案します。

弊社では、既に自動車メーカーの生産現場への導入実績を持つことから、“安全柵・安全機器”の市場ニーズを感じております。今後の市場拡大において、いち早くこの分野に参入することで、様々なノウハウを蓄積し、アルミの特性を活かした優れた製品を供給することでシェア拡大を目指します。

#### 本件に関するお問い合わせ窓口

SUS 本社広報担当 : 小倉 / 電話 0543-61-0061 / e-mail : [k-ogura@sus.co.jp](mailto:k-ogura@sus.co.jp)